

第 38 回関東小学生バレーボール大会 千葉県開催 新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

本ガイドラインは、コロナ禍での大会開催が安全な大会運営であるために国や自治体のガイドラインを参考に作成したものです。本大会に関わる全ての参加者がガイドラインに沿って活動していただくようご理解ご協力をお願い致します。

1) 大会参加時の対応 大会参加者には、以下のとおり感染予防および感染拡大防止のための措置を取る。

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること
 - A) 体調がよくない場合（発熱（37.5℃以上）・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - B) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - C) 直近 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ※大会当日に「入館者名簿」（千葉県小学生バレーボール連盟ホームページ関東大会特別バナー（以下、関東 HP）よりダウンロード）を提出し、記載内容についてはチーム責任者が必ず確認する。
- ② 参加者は全員マスクを着用すること（競技中はその限りではない）
 - ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること（チームで消毒・使い捨てシート・ゴミ袋等の持参。マイタオルの持参など）
 - ④ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保し、密にならないよう最大限の配慮をすること（できるだけ 2 m 以上／障害者の誘導や介助を行う場合を除く）
 - ⑤ 大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと 応援は拍手に限定する。
 - ⑥ 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと
 - ⑦ 大会終了後 1 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
 - ⑦ 感染リスクを考慮し原則として **1 チームでの参加者数を選手、チームスタッフ、保護者等合わせて 40 名を上限**とする。ただし、体育館での人数入場制限がある場合は、その制限人数が優先される。
 - ⑧ 上記事項が遵守されないと認められた場合、主催者判断で大会参加を取り消したり途中退場を求める場合がある。

2) 入館名簿の作成のお願い

関東 HP より「入館者名簿」をダウンロードプリントし、チーム代表者が予め作成し、当日までに下記①の項目についてすべての入館者の健康チェックを行い、試合日朝の全員の体温を記入し受付に提出すること。

- ①大会直近における参加者の健康状況を確認
 - A) 37.5℃を超える発熱
 - B) 咳（せき）、のどの痛み、頭痛など風邪の症状、嗅覚や味覚の異常
 - C) 体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、疲れやすい、息苦しい（呼吸 困難）等
 - D) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触があった
 - E) 本人通学の学校閉鎖、学級閉鎖などがある
 - F) その他感染症が疑われる症状がみられる

※上記項目に当てはまる場合は原則として参加を見合わせる。感染症とは無関係であることがはっきりしている場合は備考欄に特記する。

②「入館者名簿」の内容

- A)参加者（選手・スタッフ・保護者）氏名
- B)当日の体温
- C)大会前の健康確認（備考欄に特記事項を記入）
- D)代表者の連絡先等

3) 当日の入館受付時の留意事項

大会当日の受付時に参加者が密になることを防止し、安全に大会等を実施するための受付を行う。

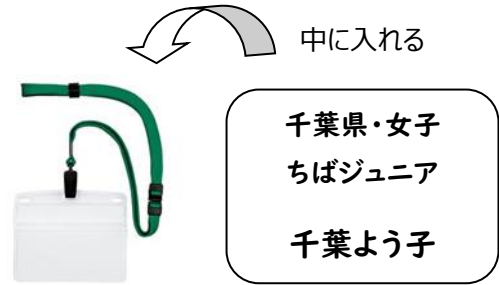
（名簿に記載のない者は入場できない。受付時に入館名簿にある全員そろって入場すること）

- ① 会場入場時の検温 ※非接触型検温計を使用 37.5℃以上の発熱者の入場はできない
- ② 入館者名簿を確認し受け取る。（大会後運営責任者による1ヶ月の保管）
- ③ 参加者全員が釣り下げ式の**名札**を首から下げて提示して入場する。（県名、カテゴリー、チーム名、本人氏名→各チームで作成持参）
- ④ 体育館入口にて手指消毒用のアルコール消毒を行う
- ⑤ 軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しない
- ⑥ 各自の靴は下足袋に入れて待機場所で各自保管（ビニール袋の持参）

※入場時間の設定（主催者・会場責任者の指示に従うこと）

名札作成例

- ・ 県名
- ・ カテゴリー（男子・女子・混合）
- ・ チーム名
- ・ 本人氏名



釣り下げ式の名札ケースをご用意ください

4) 競技・審判の準備及び試合中に配慮すべき事項

- ① 試合球は1コートにつき2個以上準備し、試合前、タイムアウト時、セット間、試合間において消毒を行う。
- ② 線審のフラッグ、得点板、モップ等、試合で使用する備品類のこまめな消毒など衛生対応に留意する。
※ラインジャッジのフラッグは、各チーム持参が望ましい。
- ③ 会場責任者並びにコート責任者は、感染対策とともに熱中症等のリスクにも備えること。特に、競技中にマスクを着用している選手がいる場合、水分補給を忘れてしまうことにより体温が上昇することがあるため、こまめに水分を補給するように指導する。
- ④ 出入り口付近の状況により、密にならない対策として試合間の入退場のコントロールを競技委員が行うので指示に従う。
- ⑤ コイントス時、キャプテンと審判間の挨拶や試合前後の握手に関しては一礼などでこれに代える形とする。
- ⑥ 下記の試合中の留意点を選手にも伝え確認する。
 - ・ 試合前などの円陣や、ベンチでの集合時においてもできるだけ密集・接触を避ける
 - ・ 競技中のハイタッチは禁止とし、腕のタッチにとどめ、タッチもできるだけ控える
 - ・ 競技中、靴底を手でさわらない
 - ・ ネット際では相手に向けた状態での発声は控える
 - ・ ベンチでは離れて座り、マスクを着用する。ウオームアップエリアでも密に気をつけ私語は慎む
※ウオーム アップエリアでも、マスク着用。ただし、熱中症にならないように十分に気を付ける
 - ・ タオル、給水ボトル等の共用禁止
- ⑦ その他、競技委員会の定めた競技方法に従って試合を行う

5) 施設の衛生管理と留意事項

トイレ・手洗い場所・更衣室・待機スペースでの留意点

- ① トイレ使用後は石鹸等で手洗いをし、マイタオル・ハンカチの使用をすること
- ② 狭い空間では他の参加者と密にならないようにする
- ③ 指定のチーム待機場所以外での飲食は禁止。昼食などは間隔をあけて黙食とする。
- ④ チームから出たゴミなどは持ち帰る。（大会弁当の食後の空容器は業者の指定時間までに指定場所へ返却回収）
- ⑤ チームで利用した座席などは各チームで消毒作業を行う

6) 応援について

- ① 応援については、感染予防の観点から拍手のみとし大声での声援を送らない。スティックバルーンなど息で膨らませて使用する用具の使用を控える。トラブル回避のため参加チームは本ガイドラインおよび関東 HP での事前周知事項を確認すること。

7) その他

- ① 落とし物、忘れ物等については当日アナウンス等で案内するが、引き取りのない場合は衛生上の観点から即日廃棄する。
- ② 大会中の発熱やけがについては、速やかに大会主催者に報告する。ただし、看護師による応急処置の後は各チームの責任において対応するものとする。
- ③ 万が一に備えてチームで抗原検査キットなどを用意し、感染症が疑われる場合には速やかにセルフチェックを行い対処する。